平和発信事業
ヒロシマの孫たち２０１８

「ロンドン～ヒロシマ、そして世界へ」
2つの違った視点から原爆を見つめなおす

伝承演劇
ヒロシマの孫たち
THE GRANDCHILDREN OF HIROSHIMA

７０年前、「広島の子ども」だった私たちと
今、「広島の子ども」である私たちが、
出会い、語り合い、つないでいく物語

朗読劇
アフターヒロシマ
AFTER HIROSHIMA

原爆の開発、そして原爆投下に対する世界の反応
そして、1950年代に起こった反核運動。
ロンドン発、もう一つのオーラルヒストリー

公演日

8月10日（金）
ヒロシマの孫たち　14:30開場　15時開演
アフターヒロシマ　18:30開場　19時開演

8月11日（土・祝）
ヒロシマの孫たち　10:30開場　11時開演
アフターヒロシマ　14:30開場　15時開演

JMSアステールプラザ2F多目的スタジオ
〒730-0812 広島市中区加古町4番17号

「ヒロシマの孫たち」上演20分前に
プレトークを開催します。
ゲスト：マリーゴールド・ヒューズ
（このプロジェクトを成功に導いた
イギリスのプロデューサー）

プレイベント開催
**『ヒロシマの孫たち無料上映会＆
折り鶴アクセサリー作り』**
8月6日（月）11:00～
キャストによる唄のギフト
スペシャルゲストも来るよ！
アステールプラザ１階ギャラリー

チケット料金

ヒロシマの孫たち	1,500円（当日1,800円）
アフターヒロシマ	1,200円（当日1,500円）
二作品セット	2,500円（当日3,000円）

全席自由　※3歳～未就学児は無料

チケット取り扱い

NPO法人子どもコミュニティネットひろしま　TEL: 082-231-8015
JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ　TEL: 082-244-8000
広島市青少年センター　TEL: 082-228-0447

主催：NPO法人子どもコミュニティネットひろしま
共催：（公財）広島市文化財団アステールプラザ　青少年センター
協力：ロンドンバブルシアター・カンパニー　NPO法人シアター＆パペットアンサンブルグラシオブルオ

www.grandchildrenofhiroshima.com

「ヒロシマの孫たち」
THE GRANDCHILDREN OF HIROSHIMA

そして

「アフターヒロシマ」
AFTER HIROSHIMA

歴史体験の継承を演劇を通して伝えていく「ヒロシマの孫たち」、そして「アフターヒロシマ」は、オーラル・ヒストリー（証言を聞き取り、歴史を記録していく）という手法と演劇を融合させた作品です。

1つ目は、広島の子どもたちによる被爆者の方へのインタビューをもとに創られた「ヒロシマの孫たち」。被爆者の方それぞれの思い出や体験をみんなで感じ、考えながら創られた作品です。原爆投下から70周年の2015年8月の広島で初上演されました。

そして、2つ目の作品として創られたのが、原爆投下後に広島を訪れたイギリス兵の体験や、原爆投下後も繰り返される核実験に対して、イギリスで活発化した核兵器禁止運動、平和運動に携わった人々へのインタビューなど、その当時を知るロンドン市民や専門家の話をもとに創られた「アフターヒロシマ」。

今年も、小学生からシニアまで、さまざまな世代の地域住民が一緒に芝居をつくり、上演します。

「ヒロシマの孫たち」アンケートより

シンプルであるからこそ想像力がふくらみ、
メッセージが伝わってきます。

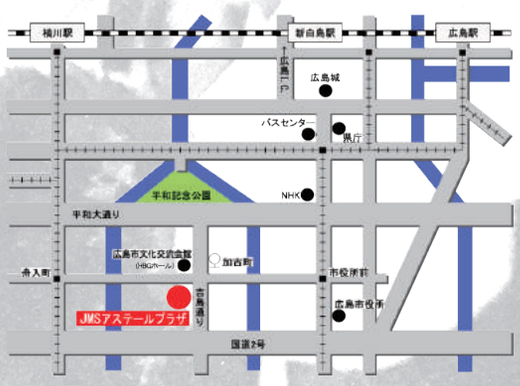
今まで映像などで見てきたこととは違い、
体感できるものがあった。
伝えるということにこんなにふさわしい
表現方法があるんだととても感じるもの
があった。

ストーリー重視ではなく、証言者が主役、
役者は表現することに徹底していた。
それでも心にのこるものがある。
今の私たちにできることは、
証言者になることではなく、代弁すること、
それを再認識した。

斬新な演出だと思った。
いろいろな伝え方があるのだなと。

演出がとても美しく、観ていてひきこまれた。
原爆の悲惨さというより、
人間のたくましさを描いているように感じた

全てにおいてとても繊細で、感動しました。
証言者の方々の声が、
聴いていてとても身に沁みる思いがしました。

「生」を強く感じた。
自分でも信じられないくらい
わけのわからないものが噴き出してきて、
流れ溢れ出した。

「ヒロシマの孫たち」脚本：瀬戸山美咲（ミナモザ主宰）
上演台本：マリーゴールド・ヒューズ、ジョナサン・ペサブリッジ、秋葉よりえ
「アフターヒロシマ」原作：サラ・ウッズ（Micheline Steinberg Associates）
日本語台本：瀬戸山美咲（ミナモザ主宰）
演出：秋葉よりえ（Theatre & Puppet Ensemble グラシオブルオ芸術監督）
初演共同演出：ジョナサン・ペサブリッジ（London Bubble Theatre Company）
音楽：ウィルフレッド・ペサブリッジ（ヒロシマの孫たち）、ペン・ホーク（アフターヒロシマ）
楽曲提供：hyoutami
美術：ウエダサユリ（unima 舎）　美術協力：長谷川康子
舞台監督：山口優歌（劇団小豆組）　舞台監督補：田中暁弘（劇団小豆組）
音響：宮本絵莉（劇団小豆組）
照明：太田真美（株式会社 篠本照明）
宣伝美術：田城美怜
制作：小笠原由季恵（NPO 法人子どもコミュニティネットひろしま）